



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日鐵商事株式会社

コード番号 9810 URL <http://www.ns-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今久保 哲大

問合せ先責任者 (役職名) 総務法務部 担当部長

(氏名) 岩崎 文夫

TEL 03-6225-3500

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	260,889	△6.5	1,978	△31.8	1,954	△36.6	1,062	△43.4
24年3月期第1四半期	279,108	9.0	2,901	0.9	3,081	7.8	1,877	13.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 2,061百万円 (△12.9%) 24年3月期第1四半期 2,367百万円 (42.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	7.90	—
24年3月期第1四半期	13.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	326,598	55,636	14.2
24年3月期	333,358	58,189	14.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 46,319百万円 24年3月期 49,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	560,000	0.8	5,500	△5.1	5,500	△10.0	3,400	△2.6	25.28
通期	1,180,000	8.5	12,500	16.4	12,500	11.3	7,500	9.1	55.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	134,801,000 株	24年3月期	134,801,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	311,257 株	24年3月期	309,291 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	134,490,659 株	24年3月期1Q	134,505,462 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、TDnetで平成24年7月31日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済については、欧州は財政・金融問題を背景に実体経済が弱く、米国は経済成長の力強さに欠け、中国等新興国も経済成長が減速するなど、顕著な回復には至りませんでした。

我が国経済についても、復興需要の遅れ等から、回復は緩慢なものとなりました。

鉄鋼業界については、内需は製造業向けが自動車を中心に増加し、前年同四半期の水準を上回りました。輸出も、円高の定着があったものの、前年の震災影響による落ち込みから回復しました。

このような状況の下、当社グループの業績は、前年同四半期と比較し、売上高は182億円、6.5%減収となる2,608億円となりました。営業利益は9億23百万円、31.8%減益となる19億78百万円となりました。経常利益は、営業利益の減益に加え、持分法適用関連会社の減益もあり、11億27百万円、36.6%減益となる19億54百万円、四半期純利益は、8億15百万円、43.4%減益となる、10億62百万円となりました。

報告セグメントの業績（セグメント利益は経常利益ベースの数値）は次のとおりであります。

(鋼材)

単体の国内鋼材は、販売数量は前年同四半期並みでありましたが、販売価格の下落により減収となりました。輸出鋼材は、北米・アジア向け販売数量が増加しましたが、販売価格の下落により減収となりました。また、内外子会社においても総じて減収となりました。これらにより、売上高は22億円、1.0%減収となる2,200億円、セグメント利益は4億65百万円、24.3%減益となる14億53百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、半成品を取り扱うセグメントを原燃料セグメントから鋼材セグメントへ変更しております。

(原燃料)

ステンレス屑の取扱数量が減少したことから、売上高は114億円、29.6%減収となる272億円となりましたが、セグメント利益は前期並みの3億28百万円となりました。

(機材・産業機械)

ロシア向け建設機械やパイプライン用鋼材の取扱高の減少により、売上高は44億円、24.8%減収となる135億円、セグメント利益は6億60百万円、79.3%減益となる1億72百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、売上高の減少に伴う売上債権や在庫の減少により前期末比67億円の減少となる3,265億円となりました。

負債合計は、短期借入金の増加があったものの、仕入債務の減少により、前期末比42億円の減少となる2,709億円となりました。

純資産合計は、当第1四半期連結累計期間での四半期純利益の計上があったものの、配当金支払や種類株式Bの取得・消却により、前期末比25億円の減少となる556億円となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,860	19,757
受取手形及び売掛金	227,531	224,235
リース債権及びリース投資資産	4,586	4,235
商品及び製品	28,125	27,454
その他	10,671	9,960
貸倒引当金	△480	△545
流動資産合計	291,293	285,096
固定資産		
有形固定資産	18,143	18,570
無形固定資産		
のれん	10	—
その他	1,534	1,407
無形固定資産合計	1,544	1,407
投資その他の資産		
その他	22,913	21,913
貸倒引当金	△538	△388
投資その他の資産合計	22,375	21,524
固定資産合計	42,064	41,502
資産合計	333,358	326,598

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	177,255	165,187
電子記録債務	7,044	7,658
短期借入金	52,205	59,223
貿易債権流動化債務	2,917	2,672
未払法人税等	2,451	1,219
引当金	1,056	376
その他	8,508	12,149
流動負債合計	251,439	248,487
固定負債		
長期借入金	15,000	15,000
貿易債権流動化債務	4,312	3,349
引当金	1,338	1,335
その他	3,078	2,789
固定負債合計	23,729	22,474
負債合計	275,169	270,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,750	8,750
資本剰余金	8,750	8,750
利益剰余金	35,560	32,055
自己株式	△72	△72
株主資本合計	52,988	49,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	341	△175
繰延ヘッジ損益	△46	4
為替換算調整勘定	△4,032	△2,992
その他の包括利益累計額合計	△3,737	△3,163
少数株主持分	8,938	9,316
純資産合計	58,189	55,636
負債純資産合計	333,358	326,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	279,108	260,889
売上原価	267,248	250,141
売上総利益	11,859	10,748
販売費及び一般管理費	8,958	8,770
営業利益	2,901	1,978
営業外収益		
受取利息	73	78
受取配当金	34	80
持分法による投資利益	268	149
その他	230	96
営業外収益合計	607	405
営業外費用		
支払利息	301	291
為替差損	26	5
その他	98	132
営業外費用合計	426	429
経常利益	3,081	1,954
特別利益		
負ののれん発生益	10	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	125
ゴルフ会員権売却損	—	3
減損損失	4	—
特別損失合計	4	129
税金等調整前四半期純利益	3,088	1,824
法人税等	1,163	709
少数株主損益調整前四半期純利益	1,924	1,114
少数株主利益	46	52
四半期純利益	1,877	1,062

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,924	1,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173	△516
繰延ヘッジ損益	32	51
為替換算調整勘定	617	1,417
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	△5
その他の包括利益合計	442	946
四半期包括利益	2,367	2,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,194	1,636
少数株主に係る四半期包括利益	172	424

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月29日付で自己株式（種類株式B）400千株を4,000百万円で取得し、同日これを全株消却いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金が4,000百万円減少しております。

なお、利益剰余金の当第1四半期連結累計期間の変動内容（要約）は以下のとおりであります。

	利益剰余金
平成24年3月31日 残高 (百万円)	35,560
当第1四半期連結累計期間中の変動額	
剰余金の配当	△566
四半期純利益	1,062
自己株式の消却	△4,000
当第1四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)	△3,504
平成24年6月30日 残高 (百万円)	32,055

(5) セグメント情報等

I 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、国内及び海外において鋼材、原燃料、機材等の商品の販売を行っており、取り扱う商品の種類ごとに販売部門を置き、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社は取扱商品を基礎とした商品別のセグメントから構成されており、「鋼材」、「原燃料」、「機材・産業機械」の3つを報告セグメントとしております。

各セグメントの主な取扱商品は以下のとおりであります。

「鋼材」 H形鋼、形鋼、鉄筋用棒鋼、線材、軌条、厚中板、熱延薄板、冷延薄板、表面処理鋼板、ブリキ、電磁鋼板、鋼管杭、各種鋼管、鋼矢板、土木建材、建築建材、建築工事、特殊鋼、ステンレス、チタン製品、半成品

「原燃料」 石炭、鋼屑、合金鉄、製鉄・製鋼用副原料、石油、潤滑油、バンカーオイル、コークス、非鉄地金、ステンレス屑

「機材・産業機械」 製鉄機械、土木・鉱山用機械、その他産業機械、プラント用鋼材、電気通信計測機器、クレーン、機械部品、圧延ロール、OA機器

なお、平成24年4月1日付の組織再編に伴い、当第1四半期連結累計期間より、半成品を取り扱うセグメントを「原燃料」から「鋼材」へと変更しております。

II 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント(注) 1				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼材	原燃料	機材・ 産業機械	計		
売上高						
外部顧客への売上高	222,302	38,785	18,020	279,108	—	279,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	0	1	△1	—
計	222,303	38,785	18,020	279,110	△1	279,108
セグメント利益	1,918	329	833	3,081	0	3,081

(注) 1 平成24年4月1日付の組織再編に伴う取扱品種の変更後の報告セグメント区分に基づく金額であります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

III 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼材	原燃料	機材・ 産業機械	計		
売上高						
外部顧客への売上高	220,041	27,295	13,552	260,889	—	260,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	0	1	△1	—
計	220,042	27,295	13,553	260,891	△1	260,889
セグメント利益	1,453	328	172	1,953	0	1,954

(注) 1 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。